

■ 開講年度	■ 開講学期	■ 開講学部等			
2017	第3クォーター	法文学部人文社会学科			
■ 科目ナンバリング	■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]			
LdA1A-1FRN-107	C1007	基礎フランス語3 French 3			
■ 担当教員[ローマ字表記]					■ 単位数
柳 光子, モヴェ・エリック [YANAGI Mitsuko, MAUVAIS Eric]					1
■ 授業科目区分	専門教育科目 専門教育科目	■ 対象 学生	【H28・H29用】▲、【H27以前用】初修外国語と同一言語の履修は不可	■ 対象 年次	1～

授業題目

授業のキーワード

フランス語 (French), 異文化理解(Cross-Cultural Understanding), コミュニケーション(Communication), 日常会話 (Everyday Conversation), 基礎文法 (Basic French Grammar)

授業の目的

人文社会諸科学の専門的知識の基盤となる外国語能力を身につける。

授業の到達目標

- 初歩的なフランス語を理解し、平易なフランス語を聞き、話し、読み書きできる。
- フランス語の正しい発音および簡単な日常会話ができる。
- 第3クォーターと第4クォーターを合わせて、文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」4級取得レベルに到達する。

ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

社会科学または人文科学の基本的な知識を習得している。
文化や社会の担い手としての自覚を持ち、責任を果たすことができる。
社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけている。

愛媛大学学生として期待される能力 (愛大学生コンピテンシー) に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる

授業概要

柳による文法、モヴェによる会話の学習を並行して進めます。専用の共通テキストを用い、相互に補完するかたちで授業を進めますが、個々のクラスでの学習内容については次の通りです。

文法クラス：フランス語の基本的な文法事項の学習、練習問題による確認、発音練習が各回に共通する内容となります。主な学習項目の目安は(授業スケジュール)に示した通りですが、視聴覚教材等を通じて生の情報に触れる時間(原則として毎回、フランスの歌や映画・映像資料を視聴する時間を設けます)や小テスト、質疑応答なども適宜この中に混じってくるの

で、多少の変動があります。

会話クラス：短い対話形式の文例や基礎文法の要点を学び、それを応用して自己紹介をする、趣味や社会活動について述べる、等の会話表現を身につける。発音の練習も重点的に行う。なお、授業の進み具合によって、フランス文化についてトピックスをいくつか取り上げ紹介する。

授業スケジュール

第1回（9月29日）

会話：授業のガイダンス、前クォーターの復習

第2回（10月3日）

文法：第2クォーターまでのふり返り

第3回（10月6日）

会話：普段どこで食べますか？

第4回（10月13日）

会話：昨日テレビを見ましたか？

第5回（10月17日）

文法：複合過去

第6回（10月20日）

会話：スポーツはしないのですか？

第7回（10月24日）

文法：受動態（メディア授業）

第8回（10月27日）

会話：明日何をするつもりですか？

第9回（10月31日）

文法：補語人称代名詞

第10回（11月7日）

文法：比較級と最上級（メディア授業）

第11回（11月14日）

文法：関係代名詞

第12回（11月17日）

会話：うさぎを食べたことはありますか？

第13回（11月21日）

文法：E-ラーニングを用いた試験、試験問題を利用したまとめ

第14回（11月24日）

会話：復習または試験（受講人数、進み具合による）

第15回（12月1日）

会話：試験とそのふり返り（受講人数、進み具合による）

授業時間外学習にかかわる情報

文法クラスで練習問題が課された場合は、宿題として必ず授業時間外に取り組んでください。練習問題がない場合も、毎回の授業について、予習と復習が必要です。

会話クラスでは、授業の練習時間内に覚えられなかった単語や表現を、次回の授業までに覚えておくこと（授業の練習時間内でも十分覚えることは可能です）。

どちらのクラス用にも、E-ラーニングを用いた自習素材を用意しますので、毎回の予習や復習に役立ててください。インターネットに接続しているパソコンやスマートフォン等があれば、自宅を含めどこからでもいつでも利用できます。テキストの発音練習もできるように音声教材も準備しています。授業で視聴した曲の歌詞や、映画のセリフ抜粋なども順次アップロードします。

成績評価方法

最終的な成績は、教員2名による評価を総合して判定されます（愛媛大学学則により、開講時間数の3分の2以上出席していない受講生は、成績判定の対象外となります）。

柳による評価基準：

1. 平常点 20%
2. 小テスト、課題提出 20%
3. E-ラーニングへの取り組み状況 10%
4. 期末試験(持ち込み不可) 50%

モヴェによる評価基準：

1. 中間テスト 30% (2~3人のグループで、教諭との口頭試験)
2. クォーター末テスト 60% (教諭との1対1の口頭試験)
3. E-ラーニングへの取り組み状況 10%

受講条件

フランス語を母語とする学生は受講できません。

受講のルール

共通のルール：

1. 基礎外国語の必修4単位は同一の外国語で修得しなければならない。
2. 文法・会話それぞれのクラスで開講時間数の3分の2以上出席していない受講生は、成績判定の対象外となる。
文法クラス：私語をはじめとする迷惑行為は厳禁。授業後やオフィスアワー等での質問も歓迎しますが、授業中に質問することがクラス全員にとって有用である場合が多いので、各自の積極的な発言を期待します。

会話クラス：外国語学習は、毎授業少しずつ覚えることが大切です。グループでの勉強が主となるため、各グループの一員として責任をもって学習すること。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	LE FRANCAIS - Le livre de l'etudiant			ISBN	-
	著者名	柳 光子 / Eric Mauvais	出版社	-	出版年	2017

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

第1～第4クォーターを通じて、また文法・会話の両クラスで、この授業のために独自製作したテキスト (LE FRANCAIS - Le Livre de l'etudiant) を使用します。この学期からこの授業を受講する場合は申し出てください。
参考書や問題集が必要な受講生には適当なものを紹介します。前の学期までで使った仏和辞典も引き続き必要です。
無料で利用できるこの授業専用のE-ラーニング「コース」が設けられており、予習・復習のほか、追加の学習ができるコンテンツが提供されます。

オフィスアワー

柳のオフィスアワー：木曜 14:30-15:30 (時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前に連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します)

モヴェのオフィスアワー：火曜 14:30-16:00 (時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前に連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します)

Eメールアドレス

yanagi.mitsuko.mx@ehime-u.ac.jp

mauvais.eric.mc@ehime-u.ac.jp

連絡先

柳研究室：法文本館8階(801)
モヴェ研究室：愛大ミュージズ3階(317)

参照ホームページ

柳およびモヴェによる学習支援サイト(略称:AFA)をぜひ活用してください。
<http://afa.ll.chime-u.ac.jp> (「愛大」「AFA」で検索してもヒットします)

その他

フランス語は英語に次いで世界で2番目に多くの人々によって学習されている言語です。フランス語の学習は、国際交流において様々な国の人々とコミュニケーションをとることに繋がります。また、様々な分野の学習・研究においても有用となるでしょう。

日本においてもフランス語は日常的に多用されています。歴史をひもとけば、フランスと日本は、互いの存在を知った時から尊敬しあう関係を続けてきました。特に精神的・文化的な面において、表現こそ違えど、深いところで互いに親近感を覚える考えを持ち、影響しあってきました。この授業では言葉の学習にとどまらず、「実は身近なフランス」を肌で感じてみてください。この異文化体験を通じて、皆さんは言葉とフランス文化とを自然に体得することができるでしょう。

さらに、この授業については、E-ラーニングを利用して上記以上の内容を学んだり、追加の練習問題やテキストの発音練習を行ったりできるようにしています。E-ラーニングの教材は授業の予習・復習にも活用してください。自宅や自習室等のインターネットに接続しているパソコン、スマートフォン等から24時間利用できます。利用の方法についても指導を行いますので、予備知識は不要です。